

# 令和4年第14回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年5月26日（木）午後0時30分～午後3時15分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室（リモート）

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時5分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 衣笠委員

警察本部 服部警察本部長 雲田警務部長 笠田首席監察官  
前田生活安全部長 河本刑事部長 柴田交通部長  
加藤警備部長 植木警察学校長 見垣情報通信部長  
前田警務部参事官

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐）

3 議題事項

公安委員会宛ての苦情に対する回答（警務部）

警察本部から、公安委員会宛ての苦情に対する回答案の説明がなされた。

**委員**

正すべき点については、厳正に対処していただきたい。

**委員**

相手の心情に配慮した対応をしていただきたい。

4 報告事項

○5月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

○高速道路交通警察隊の活動状況（交通部）

## ○ 6 月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

### （1）5 月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

#### 警察本部

5 月 3 1 日に開会予定である 5 月県議会定例会に提案予定の警察本部関係の令和 4 年度 5 月補正予算案の概要について報告する。令和 4 年度当初警察予算として、170 億 7, 225 万 2 千円を確保しているところ、5 月補正予算として 323 万円を計上するものである。当初予算において各都道府県警が個別に整備している遺失物管理システムを整備統合し、警察庁が整備した新システムへ移行するための移行作業に係る経費 1, 194 万円 9 千円を確保しているところであるが、このたび警察庁から詳細な仕様が示され、当初想定されていない追加作業が生じることが判明したことから、補正予算において委託料 323 万円を増額するものである。

なお、本県においては令和 5 年 3 月に新システムへの移行、運用を予定している。これにより、5 月補正後の警察予算総額は、170 億 7, 548 万 2 千円となる。

#### 委員

共通基盤の整備により、利便性が向上することは良いことだと思う。

### （2）高速道路交通警察隊の活動状況（交通部）

#### 警察本部

本年 4 月末現在での交通事故発生状況は、米子道及び山陰道西は減少したが、鳥取道及び山陰道東は微増で、全体としては、昨年同期と比べ、11 件減少し、件数は横ばい傾向であるが、山陰道における事故の発生が顕著となった。

本年の交通死亡事故は、2 月 27 日、鳥取市本高地内の山陰道鳥取西道路において、普通乗用自動車に対向車線にはみ出し、中型貨物自動車と正面衝突して、普通乗用自動車を運転していた男性が死亡する事故が発生した。

交通事故防止対策として、交通死亡事故が発生した場合には、道路管理者、鳥取県高速道路交通安全協議会、鳥取県、鳥取市等の関係機関と現場確認を実施し、その後、交通事故抑止対策について検討会を開催している。

道路管理者に対してポストコーンの形状変更等、ワイヤーロープの設置要望をしたところ、事故多発地点の看板設置と通常より幅広のポストコーンに変更することが決定された。

交通事故多発区間については、交通事故多発時間帯にパトカーによる見せる活動を強化しており、交通機動隊及び警察署に対しても、高速道路交通警察隊の管理道路を走行する際のレッド走行を依頼している。

また、中国トラック協会から、中国 5 県のネクスコ及び高速道路交通警察隊に

交通事故抑止のための懸垂幕が贈呈された。鳥取県は「高速道路、広げて安心、車間距離」という標語が書かれた懸垂幕の贈呈を受け、ネクスコ管理道路に掲示している。

殉職受傷事故防止対策としては、ネクスコ隊員との共同交通規制要領訓練を実施したほか、殉職受傷事故防止の検討会、各級幹部による現場点検の実施など、事故防止への働きかけを随時行っている。

本年度の定期異動により、高速道路交通警察隊米子分駐隊に女性隊員1名が配置となった。

引き続き、高速道路における交通事故防止、交通安全対策を推進していく。

#### 委員

はみ出し事故が多いが、その原因は何か。

#### 警察本部

長距離の運転を漫然としてしまうということが一つの原因と考えられる。

#### 委員

交通事故発生状況をみると、山陰道の西、東における事故発生件数が突出している。

山陰道における交通事故をいかに減らすかが重要である。レッド走行は大変効果があると思うので、事故多発区域でのレッド走行を強化してほしい。

#### 委員

事故の原因をきちんと分析をしていただくとともに、運転者に対する交通安全への意識付けをお願いする。

### (3) 6月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

#### 警察本部

6月中の入校関係は、初任科第95期、第96期及び初任補修科第42期の採用時教養を行う。専科は、5専科が入校予定である。

行事関係について、初任科生は、中間試験と逮捕術基礎級検定を予定している。

中間試験は、初任科第95期が入校期間を半分経過したことから、実施するものである。初任補修科生は、鑑識技能検定の初級、基礎的捜査書類作成能力検定の受検を予定している。

5月中の行事・訓練等の状況は、初任科生に対する航空隊見学、無線講習、拳銃貸与式を実施し、初任補修科第42期の入校式を行った。

#### 委員

捜査書類を迅速に作成する能力もしっかり養ってほしい。

## 委員

初任科生は、日々膨大な教養を受けており、それまでと環境も大きく変わったと思うので、心のフォローもお願いする。

## 委員

県警察を担う警察官をしっかりと育てていただきたい。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 事前説明

公安委員会宛ての苦情に対する回答

### 3 報告事項

- ・業績目標説明
- ・中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・損害賠償関係

### 4 決裁

- ・令和4年度鳥取県留置施設視察委員会委員の任命
- ・指定自動車学校に対する監督命令

### 5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

### 6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。